

# 5 肥料の国産化・安定供給確保対策

【令和4年度補正予算額 26,998百万円】

## <対策のポイント>

化学肥料原料のほとんどを海外に依存している中で、輸入が途絶した場合にも生産現場への肥料の供給を安定的に行うことができるよう、**化学肥料原料の備蓄及びこれに要する保管施設の整備を支援**します。

また、肥料の国産化に向けて、**畜産業由来の堆肥や下水汚泥資源などの国内肥料資源の肥料利用を推進**するための技術開発・実証を推進するとともに、畜産・下水事業者、肥料製造業者、耕種農家等の連携や施設整備等を支援します。

## <事業目標>

肥料の安定的な供給及び畜産業由来の堆肥や下水汚泥資源などの国内肥料資源の肥料利用の推進

## <事業の全体像>

安定調達

肥料原料備蓄対策事業

化学肥料原料の国内備蓄



- ・備蓄原料の保管料等の支援
- ・備蓄用保管施設の整備費の支援

化学肥料の安定供給



国内資源活用

国内肥料資源利用拡大対策

国内肥料資源の肥料利用



化学肥料との混合肥料

- ・堆肥等の高品質化・ペレット化など広域流通等に必要な施設整備等の支援
- ・ほ場での効果検証の取組、機械導入等の支援

肥料の国産化の推進



ペレット堆肥流通・下水汚泥資源等の肥料利用促進技術の開発・実証

国内肥料資源の肥料利用のための技術開発・実証

- ・ペレット堆肥の広域流通促進モデル実証
- ・下水汚泥資源の活用促進モデル実証
- ・酪農スラリーの高度肥料利用のための技術開発

国内における農産物の安定生産の実現

5-1 肥料の国産化・安定供給確保対策のうち  
肥料原料備蓄対策事業

【令和4年度補正予算額 16,000百万円】

＜対策のポイント＞

化学肥料原料のほとんどを海外に依存している中で、輸入が途絶した場合にも生産現場への肥料の供給を安定的に行うことができるよう、**化学肥料原料の備蓄及びこれに要する保管施設の整備を支援**します。

＜事業目標＞

肥料の安定的な供給

＜事業の内容＞

**1. 備蓄原料保管経費支援事業**

主要な化学肥料原料を備蓄するために必要な保管費用（保管料、保険料等）を支援します。

**2. 備蓄用保管施設整備支援事業**

肥料原料を保管するために必要な保管施設の整備費用を支援します。

**3. 推進事業**

上記1及び2の事業の実施に必要な基金管理団体の業務に要する費用を支援します。

＜事業イメージ＞

＜事業の流れ＞

国

定額

基金管理団体

定額

民間団体

(1.3の事業)

2/3

民間団体

(2の事業)

5-2 肥料の国産化・安定供給確保対策のうち  
国内肥料資源利用拡大対策

【令和4年度補正予算額 9,998百万円】

＜対策のポイント＞

肥料の国産化に向けて、畜産業由来の堆肥や下水汚泥資源などの国内肥料資源の肥料利用を推進するため、畜産、下水事業者、肥料製造業者、耕種農家等の連携や施設整備等を支援します。

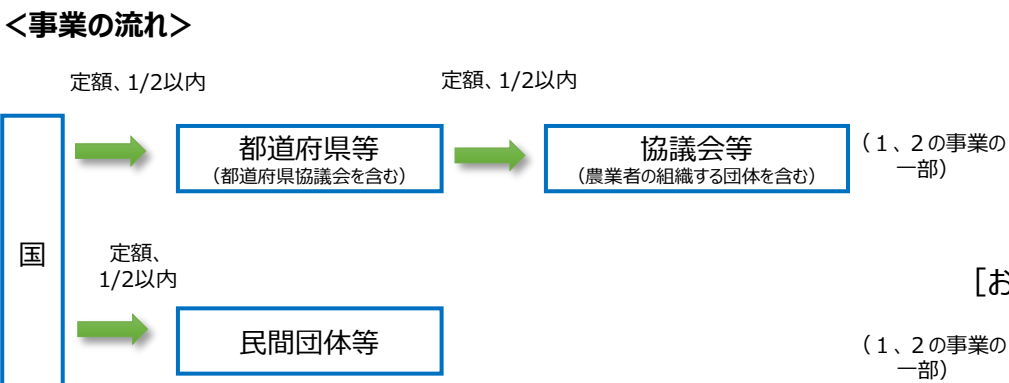
＜事業目標＞

畜産業由来の堆肥や下水汚泥などの国内資源の肥料利用の推進

＜事業の内容＞

＜事業イメージ＞

- 1. 施設整備等への支援**  
国内資源の肥料としての利用拡大のため、堆肥等の高品質化・ペレット化など広域流通等に必要な施設整備等を支援します。
- 2. 実証等の取組への支援**  
国内資源の肥料としての利用拡大のため、ほ場での効果検証の取組、機械導入等を支援します。



【お問い合わせ先】(1、2の事業) 農産局技術普及課 (03-6744-2182)  
(2の事業) 農業環境対策課 (03-3593-6495)  
(1、2の事業) 畜産局畜産振興課 (03-6744-7189)  
(1の事業) 食肉鶏卵課 (03-3502-5989)

5-3 肥料の国産化・安定供給確保対策のうち  
ペレット堆肥流通・下水汚泥資源等の肥料利用促進技術の開発・実証

【令和4年度補正予算額 1,000百万円】

<対策のポイント>  
外的要因により大きく影響を受ける**肥料の海外依存体質を改善し、農業経営の安定や国民への食料安定供給のため、国内の資源を有効活用し肥料利用するための技術開発・実証**を推進します。

<事業目標>  
国産資源を活用した肥料の生産拡大

<事業の内容>

家畜排せつ物や下水汚泥資源といった**国内の資源を有効活用した肥料の生産・利用拡大に向けた技術開発・実証**を推進します。

1. ペレット堆肥の広域流通促進モデル実証  
地域によって偏在する家畜排せつ物を原料とした堆肥を有効活用するため、**ペレット化し広域流通させる取組の実証**をモデル的に実施します。

2. 下水汚泥資源の活用促進モデル実証  
下水処理施設から排出される**汚泥資源を原料としたコンポスト肥料等の活用を促進**するため、費用対効果の高い**肥料の生産方法の開発**やその肥効に係る**現地実証**等を実施します。

3. 酪農スラリーの高度肥料利用のための技術開発  
**酪農から排出されるふん尿混合物（スラリー）を肥料等**として高度に利用するために、水分調整等の**利用技術を開発**します。

<事業の流れ>

国

交付  
(定額)

(国研) 農業・食品産業  
技術総合研究機構

委託

民間団体等  
(公設試・大学を含む)

<事業イメージ>

1. ペレット堆肥の広域流通促進モデル実証  
家畜排せつ物の偏在による資源の無駄を削減するためのさらなる広域流通や、肥効が高く輸入肥料の代替としての効果が期待できる豚糞・鶏糞を用いたペレット堆肥の高品質化等の実証

製造方法

ニーズ

偏在地からの広域流通

〜50kg/ha  
50〜100  
100〜150  
150〜200  
200〜250  
250〜

耕地面積当たりの家畜排せつ物発生量（室素ベース）

2. 下水汚泥資源の活用促進モデル実証

下水処理

下水処理場

下水汚泥資源

コンポスト

リン回収

高温発酵

堆肥化

肥料資源の回収

肥料製造

生産

販売

汚泥コンポストの製造効率化やユーザーニーズにマッチした複合肥料の製造、安全性・肥効のモニタリング手法確立、汚泥肥料を用いた栽培試験等

各地区で行われた研究成果を農研機構でとりまとめ、成果を全国展開

3. 酪農スラリーの高度肥料利用のための技術開発

酪農スラリー

水分調整・  
新規資材等の開発

肥料成分の回収  
(窒素・リン等)

堆肥液肥

化学肥料原料